

# 循環器内科

## 当院の循環器内科の特徴

狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、高血圧症などの循環器（心臓や血管）疾患の診断と治療を行います。

### 生死を分ける心血管疾患に 24 時間体制で対応する「心臓血管センター」

当院は世田谷区で唯一の東京都 CCU ネットワーク加盟施設であり、急性大動脈スーパーネットワークの支援病院です。循環器内科と心臓外科の医師が密接なチームワークを組んだ「心臓血管センター」が設置されており、虚血性心疾患や大動脈瘤、大動脈解離の救急に 24 時間体制で対応しています。

心臓リハビリテーションでは、心血管疾患で入院中・外来通院中の患者様の機能回復・早期の社会復帰と疾患の再発予防を支援します。

また、当院は血液透析センターを併設おり、腎臓疾患の治療も積極的に行っています。

日本循環器学会認定循環器専門研修施設の認定を受けており、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医が主治医として治療を担当します。

## 得意分野

循環器疾患全般を幅広くカバーしていますが、特に、最新の心臓カテーテル検査装置を用いて、狭心症や心筋梗塞に対するカテーテル治療を積極的に行っています。**カテーテル治療件数は世田谷区でトップの実績を誇ります。**治療は、急性心筋梗塞や狭心症に対するカテーテル治療、不整脈に対するカテーテルアブレーション、下肢の血管が動脈硬化で狭くなり、歩くと腿やふくらはぎが痛くなる症状がある患者さん（閉塞性動脈硬化症または末梢動脈疾患）に対するカテーテル治療を行っています。

脈が遅くなり、めまいや失神などの症状のある患者さんに対するペースメーカー植込み手術、心室頻拍・心室細動のような危険な不整脈のある患者さんに対する植込み型除細動器（ICD）の植込み手術、心不全の患者さんに対するペースング治療（CRT）なども行っています。



経皮的冠動脈インターベンション（PCI）は、手首や足の付け根から細長い管（カテーテル）を心臓まで進め、心臓の筋内に血液を供給する冠動脈を治療する手技です。緊急処置を必要とする場合は、昼夜を問わず 24 時間体制で実施します。

## 担当医師紹介



循環器内科部長  
山下 尋史



カテーテル治療科部長  
伊藤 敦彦



医長  
田部井 史子



医長  
杉下 靖之



医師  
石井 聡



医師  
鈴木 高明



医師  
大塩 博子



医師  
関 光里



非常勤医師  
野崎 彰



非常勤医師  
吉玉 隆

当科外来を受診する場合は、先ずかかりつけ医（ホームドクター）に相談し、紹介状（診療情報提供書）を書いてもらってから、受診されることをお勧めします。患者さんの正確な情報が得られることにより、無駄な検査を省き、診断と治療を早く正確に行うことができるからです。しかし、強い胸痛、呼吸困難（安静にしても呼吸が苦しい）、失神など、急を要する場合には、救急車を依頼して速やかに受診してください。